

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-103413

(43)Date of publication of application : 22.04.1997

(51)Int.Cl.

A61B 5/00

A61G 12/00

G06F 19/00

(21)Application number : 07-265187

(71)Applicant : MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD

(22)Date of filing : 13.10.1995

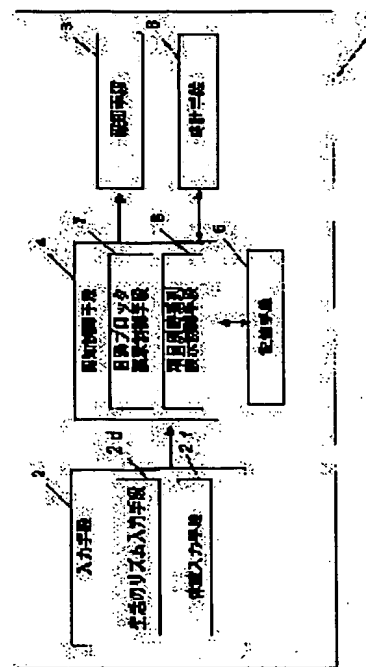
(72)Inventor : SHIRAISHI TAKAKO
NISHII KAZUNARI
KANAZAWA YASUYUKI

(54) HEALTH MANAGEMENT SUPPORTING DEVICE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To support health management for making an individual recognize the cause of the quality of a biological state by simultaneously reporting information relating to the rhythm of the daily life of the individual and the daily biological information of the individual.

SOLUTION: This device is provided with a rhythm-of-life input means 2d for inputting the information relating to the rhythm of the daily life of the individual, a body weight input means 2f for inputting body weight, a storage means 5 for storing the information from the rhythm-of-life input means 2d or the body weight input means 2f and a reporting means 3 for reporting the information from the rhythm-of-life input means 2d, the body weight input means 2f or the storage means 5. Thus, a user recognizes the correlation of the rhythm of his/her own daily life and the body weight and realizes health improvement, weight reduction and figure slimming by life improvement.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 15.10.2002

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision]

THIS PAGE BLANK (USPTO)

を判定し、便せるのに最適な時期を推測し報知手段にて報知するための便身タイミング報知手段を備えた請求項4ないし9のいずれか1項に記載の健康管理支援装置。
【請求項11】 肥満手段は理想的な生活のリズムのパターンについてのデータを記憶し、生活のリズム入力手段または体重入力手段からの情報と前記肥満手段に記憶された理想的な生活のリズムパターンとの比較から生活のリズムの良否を判定し報知手段にて報知するための生活のリズム判定手段を備えた請求項3ないし10のいずれか1項に記載の健康管理支援装置。

【請求項12】 肥満手段は理想的な生活のリズムのパターンについてのデータを記憶し、生活のリズム入力手段または体重入力手段からの情報と前記肥満手段に記憶された理想的な生活のリズムのパターンとの比較から生活のリズム入力手段または体重入力手段からの情報に基づき利用者の生活のリズムを総合的に判断し、望ましい生活のリズムについての助言を報知手段にて報知するための助言手段を備えた請求項3ないし11のいずれか1項に記載の健康管理支援装置。

【請求項13】 健康増進、ストレス解消、便身等のための運動法を静止画、動画、文字、音声等により報知手段に報知するための運動法報知手段を備えた請求項3ないし12のいずれか1項に記載の健康管理支援装置。

【請求項14】 生活のリズム入力手段はスポーツクラブ、エスデティックサロン、フィットネスクラブ、病院等の美容便身施設または医療施設への通院日を入力する通院記録入力手段を備えた請求項4ないし13のいずれか1項に記載の健康管理支援装置。

【請求項15】 生活のリズム入力手段はスポーツクラブ、エスデティックサロン、フィットネスクラブ、病院等の美容便身施設または医療機関通院時の施術、運動の実施内容、治療、投薬、指導内容等を入力する施術内容入力手段を備えた請求項14記載の健康管理支援装置。

【請求項16】 特定個人を識別する個人認証手段を設けた請求項3ないし14のいずれか1項に記載の健康管理支援装置。

【請求項17】 入力手段は、入力操作指示部とペンとからなるペンタッチ入力手段を備えた請求項3ないし16のいずれか1項に記載の健康管理支援装置。

【請求項18】 スポーツクラブ、エスデティックサロン、フィットネスクラブ、病院等の美容便身施設または医療機関に設置されている情報処理装置と、健康管理支援装置は情報の授受が可能な送受信部を介して結合されることを特徴とした健康管理支援システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は食生活を中心とする生活改善を支援し、健康増進、美容、便身、減量等を行うための健康管理支援装置に関するものである。

【0002】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 個人の日々の生活のリズムに関する情報と、個人の日々の生活情報を同時に報知することにより、生体状態の良否の原因を個人に認識させる健康管理支援装置。

【請求項2】 個人の日々の生活のリズムに関する情報と、個人の日々の生活情報を同時に報知することにより、体重増減の原因を個人に認識させる健康管理支援装置。

【請求項3】 個人の日々の生活のリズムに関する情報を入力する生活のリズム入力手段と、体重を入力する体重入力手段と、前記生活のリズム入力手段または前記体重入力手段からの情報を報知する報知手段とを備えた健康管理支援装置。

【請求項4】 個人の日々の生活のリズムに関する情報を入力する生活のリズム入力手段と、体重を入力する体重入力手段と、前記生活のリズム入力手段または前記体重入力手段からの情報を記憶する記憶手段と、前記生活のリズム入力手段または前記体重入力手段または前記記憶手段からの情報を報知する報知手段とを備えた健康管理支援装置。

【請求項5】 測定データを送信するデータ送信手段を備えた体重測定手段と、体重入力手段は前記体重測定手段からの体重データを受信する受信手段を備えた請求項3または4記載の健康管理支援装置。

【請求項6】 生活のリズム入力手段は、カロリー消費量、体温、基礎体温、血圧、心拍、ストレス度合い、血糖値、尿糖値、尿たんぱく、睡眠深度、体脂肪率、身体寸法等の人体生理に関する情報と測定し、測定データを送信するデータ送信手段を備えた生理データ測定手段と、測定データ入力手段は前記生理データ測定手段からの送信データを受信するデータ受信手段を備えた請求項6記載の健康管理支援装置。

【請求項7】 カロリー消費量、体温、基礎体温、血圧、心拍、ストレス度合い、血糖値、尿糖値、尿たんぱく、睡眠深度、体脂肪率、身体寸法等の人体生理に関する情報と測定し、測定データを送信するデータ送信手段を備えた生理データ測定手段と、測定データ入力手段は前記生理データ測定手段からの送信データを受信するデータ受信手段を備えた請求項7記載の健康管理支援装置。

【請求項8】 生活のリズム入力手段または体重入力手段または肥満手段からの複数項目の情報を日別のブロックにして報知手段にて報知させるための日別ブロック報知手段を備えた請求項3ないし7のいずれか1項に記載の健康管理支援装置。

【請求項9】 生活のリズム入力手段または体重入力手段または肥満手段からの情報を各項目毎に時系列で報知手段にて報知させるための項目別時系列報知制御手段を備えた請求項4ないし8のいずれか1項に記載の健康管理支援装置。

【請求項10】 生活のリズム入力手段または体重入力手段からの入力情報に基づき利用者の生理的バイオリズム

(19)日本国特許庁 (J P) (12) 公開特許公報 (A) (11)特許出願公開番号 特開平9-103413 (43)公開日 平成9年(1997)4月22日

(3)Int.Cl.	識別記号	特許庁内管理番号	特許庁内管理番号
A 61 B 5/00	A 61 B 5/00	5/00	Z
A 61 G 12/00	A 61 G 12/00	9652-4C	Z
G 06 F 19/00	G 06 F 15/42		B

審査請求 未請求 請求項の範囲 OL (全 24 頁)

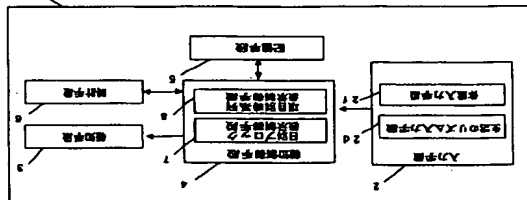
(21)出願番号	特開平7-265187	(71)出願人	00005521 松下電器産業株式会社 大阪府門真市大字門真1006番地
(22)出願日	平成7年(1995)10月13日	(72)発明者	白石 孝子 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内
		(72)発明者	西井 一成 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内
		(72)発明者	金澤 肇之 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内
		(74)代理人	弁理士 楠本 智之 (外1名)

(54)【発明の名称】 健康管理支援装置

(57)【要約】

【課題】 個人の日々の生活のリズムに関する情報と、個人の日々の生活情報を同時に報知することにより、生体状態の良否の原因を個人に認識させる健康管理の支援をすることである。

【解決手段】 個人の日々の生活のリズムに関する情報を入力する生活のリズム入力手段と、体重を入力する体重入力手段2 f と、前記生活のリズム入力手段2 d または前記体重入力手段2 f からの情報を記憶する記憶手段5 と、前記記憶手段2 f または前記記憶手段5からの情報を報知する報知手段3 とを備えたものであり、利用者は自分の生活のリズムと体重の相関を認識し、生活改善による、健康増進、減量、便身を実現することができる。



【従来の技術】近年、成人病の増加が顕著で特にその原因として肥満が問題になっている。また、若い女性のダイエットへの関心も高く、美しく痩せることを目ざす女性をターゲットとしたダイエットが盛んである。しかし、その中には特定の食品ばかり食べさせたり、極端な食事制限等の間違った食事療法や、非常に高価な薬品を売りつけたりといったものもある。しかし、成人病や肥満は家庭病とも言われ、休養、運動、栄養といった日常生活の改善によって、予防や治療ができるものである。若い世代の間違った生活習慣や食生活の習慣が潜在的に成人病を進行させていることが指摘されており、中年以降の成人病予防のためにも、健康な内から食生活を中心とする生活の改善を行い、健康を維持していくことが大切である。

【0003】そこで、個人の健康を家庭で管理する装置として、個人の身体的、医学的特徴から標準値と比較して食事や運動の処方をするもの（特開昭61-211760号公報）がある。しかし、個人の摂取する栄養状態は個人で大きく異なる上、同一個人でも摂取する食事によって異なり、肥満や成人病の予防に大きく関わる食事と運動については単に個人の身体的、医学的な情報のみによる健康管理で、その個人にとって適切な指示を与えることは不可能である。このような問題を解決するものとして、特開昭62-257567号公報は各個人の男女別、年齢、体重、身長、摂取した食品の種類、量等を計算し、一日当たりの摂取すべき摂取カロリーと運動量の指示をディスプレイ表示し、次に、摂取した食品情報から摂取カロリーを計算し表示するものであり、また、特開平2-814790号公報は個人の取った食事内容のデータ、睡眠時間、運動量等個人の行動データを入力し、個人の具体的な摂取内容、行動内容に応じた栄養の過不足を判定し、好ましい栄養摂取内容や運動内容を指示するものである。

【0004】
【発明が解決しようとする課題】しかしながら、前記した公報においては次のような課題を有している。第1に摂取エネルギー算出のための、毎日食べた全ての正確なメニューの入力作業が利用者にと与える負担は多大であるにも関わらず、メニューから選きたカロリーデータはあくまでも標準値であり、個人が食べた正確なカロリーデータではない。

【0005】第2に、個人の毎日の行動データと、標準値と照らし合わせて指示を与えるのでは真に個人に適切な指示とは言えない。減量、瘦身を目的とした場合、個人の身体的、生体的特徴から導き出した標準値を理想値とすることの問題がある。つまり、望ましい食事内容は基礎代謝量等の個人の体質、バイオリズムや生活習慣で異なる。体質の増減は単にカロリーの出入りだけな

く、ストレス度合い、睡眠状態、食事の摂取の仕方、排便状況、女性の場合は生理周期等の日々の生活のリズム全体がお互いに影響しあっている。

【0006】第3に、自動的に装置が判断して、指導内容を提示する場合、提示された食事や運動の内容が個人のライフスタイルに適合していない、実行できないことが多い。また、利用者は常に提示された指示に従うという受け身になり、長続きしない、自分の生活における体重増減のメカニズムと現実可能な生活改善策を見つけた、実行し、減量、健康増進等の成果を認識していくことが長続きするために大切であると考ええる。

【0007】本発明は、上記課題を解決するもので、個人の日々の生活のリズムに関する情報と、個人の日々の体重情報や血圧値情報等の生体情報を同時に報告することにより、体重の増減や生体状態の良否の原因を個人に認識させるダイエット管理や健康管理を支援する装置を提供することを目的とする。

【0008】
【課題を解決するための手段】本発明は上記の目的を達成するために下記の構成とした。

【0009】すなわち、個人の日々の生活のリズムに関する情報と、個人の日々の生体情報を同時に報告することにより生体状態の良否の原因を個人に認識させるというものである。

【0010】
【発明の実施の形態】本発明は、個人の日々の生活のリズムに関する情報と生体情報を同時に個人に報告することにより、生体状態の良否の原因を個人に認識させるものである。

【0011】また、個人の日々の生活のリズムに関する情報と、個人の日々の体重情報を同時に報告することにより、体重増減の原因を個人に認識させるダイエットを管理するものである。

【0012】また、個人の日々の生活のリズムに関する情報を入力する生活のリズム入力手段と、体重を入力する体重入力手段と、前記生活のリズム入力手段または前記体重入力手段からの情報を報告する報告手段とを備えたものである。

【0013】また、個人の日々の生活のリズムに関する情報を入力する生活のリズム入力手段と、体重を入力する体重入力手段と、前記生活のリズム入力手段または前記体重入力手段からの情報を記憶する記憶手段と、前記生活のリズム入力手段または前記体重入力手段または前記記憶手段からの情報を報告する報告手段とを備えたものである。

【0014】また、測定データを送信するデータ送信手段を備えた体重測定手段を備え、体重入力手段は前記体重測定手段からの体重データを受信する受信手段を備えたものである。

【0015】また、生活のリズム入力手段は、カロリー

消費量、体温、基礎体温、血圧、心拍、ストレス度合い、血糖値、尿糖値、尿たんぱく、睡眠深度、体脂肪率、身体寸法等の生体生体に関する測定値を入力する測定データ入力手段を備えたものである。

【0016】また、カロリー消費量、体温、基礎体温、血圧、心拍、ストレス度合い、血糖値、尿たんぱく、睡眠深度、体脂肪率、身体寸法等の生体生体に関する情報を決定する生体データ測定手段と、測定データ入力手段は前記生体データ測定手段からの送信データを受信する受信手段を備えたものである。

【0017】また、生活のリズム入力手段または体重入力手段または記憶手段からの情報に基づき複数項目のデータを日別のプロットにして報告手段に表示させるための日別プロット報告制御手段を備えたものである。

【0018】また、生活のリズム入力手段または体重入力手段または記憶手段からの情報を各項目毎に時系列で報告手段に表示させるための項目別時系列表示制御手段を備えたものである。

【0019】また、生活のリズム入力手段または体重入力手段からの入力情報に基づき利用者の生体的バイオリズムを判定し、優せるのに最適な時期を推測し報告手段に報告するための瘦身タイミング報告手段を備えたものである。

【0020】また、記憶手段は理想的な生活のリズムのパターンについてのデータを記憶し、生活のリズム入力手段または体重入力手段からの情報と記憶手段に記憶された理想的な生活のリズムパターンとの比較から生活のリズムの良否を判定し報告手段にて報告するための生活のリズム判定手段を備えたものである。

【0021】また、記憶手段は理想的な生活のリズムパターンについてのデータを記憶し、生活のリズム入力手段または体重入力手段からの情報と記憶手段に記憶された理想的な生活のリズムパターンとの比較から生活のリズム入力手段または体重入力手段からの情報に基づき利用者の生活のリズムを総合的に診断し、望ましい生活のリズムについての助言を報告手段にて報告するための助言手段を備えたものである。

【0022】また、健康増進、ストレス解消、瘦身等のための運動法を静止画、動画、文字、音声等により報告手段に報告するための運動法報告手段を備えたものである。

【0023】また、生活のリズム入力手段はスポーツクラブ、エスデタイツクラブ、フィットネスクラブ、病院等の健康増進施設または医療機関通院時の通院日を入力する通院日入力手段を備えたものである。

【0024】また、生活のリズム入力手段はスポーツクラブ、エスデタイツクラブ、フィットネスクラブ、病院等の美容瘦身施設または医療機関通院時の施術、運動の実施内容、治療、投薬、指導内容等を入力する施術内容入力手段を備えたものである。

【0025】また、特定個人にのみ情報を報告させる個人認証手段を設けたものである。入力手段は、入力操作指示表示部とペンからなるペンタッチ入力手段を備えたものである。

【0026】また、スポーツクラブ、エスデタイツクラブ、フィットネスクラブ、病院等の美容瘦身施設または医療機関に設置されている情報処理装置と、健康管理支援装置とは情報の授受が可能な送受信部を介して結合される構成としている。

【0027】本発明は、上記した構成によって、下記の作用が得られる。すなわち、個人の日々の生活のリズムに関する情報と生体情報を同時に個人に報告することにより、生体状態の良否の原因を個人に自己認識させることができる。

【0028】また、個人の日々の生活のリズムに関する情報と、個人の日々の体重情報を同時に報告することにより、体重増減の原因を個人に認識させ、個人の生活実態に即した生活改善に役立つダイエット法の実現が可能になる。

【0029】また、入力手段より入力された個人の日々の生活のリズムに関する情報と、個人の日々の血圧情報や血糖値情報等の生体に関する情報を同時に報告手段に報告することにより、何故血圧の増減が生じるのか何故血糖値の増減が生じるのか等の生体状態の良否の原因を日々の生活のリズムを報告することにより個人に認識させることが可能となる。

【0030】また、入力手段より入力された個人の日々の生活のリズムに関する情報と、個人の日々の体重情報を同時に報告手段に報告することにより、何故体重の増減が生じるのかの原因を日々の生活のリズムを報告することにより個人に認識させることが可能となる。

【0031】具体的に、報告手段は生活のリズム入力手段からの個人の日々の睡眠、便通、月経、運動、気分、食事の栄養バランス、食事時間、入浴等の状況である生活のリズム情報と、体重入力手段からの体重情報を報告し、さらに記憶手段に記憶管理することがである。

【0032】また、体重測定手段は測定した体重データをデータ送信手段を通じて送信し、体重入力手段はデータ送信手段からの体重情報をデータ受信手段を通じて受信し、入力することがである。

【0033】また、測定データ入力手段はカロリー消費量、体温、基礎体温、血圧、心拍、ストレス度合い、血糖値、尿糖値、尿たんぱく、睡眠深度、体脂肪率、身体寸法等の生体生体に関する測定値を入力可能とし、入力情報を報告手段により報告する。

【0034】また、生体データ測定手段はカロリー消費量、体温、基礎体温、血圧、心拍、ストレス度合い、血糖値、尿糖値、尿たんぱく、睡眠深度、体脂肪率、身体寸法等の生体生体に関する情報を測定可能とし、データ送信手段を通じて測定したデータを送信し、測定データ

段5に登録、記憶されたパスワードとを照合する個人情報手段29とを備えている点が異なる。

【0074】次に動作について説明する。まず、利用者は利用者本人を識別するための暗号番号をパスワード入力手段28より入力し登録する。個人情報手段29はパスワード入力手段28からのパスワード情報と記憶手段5に記憶蓄積させる。利用者は健康管理支援装置1の情報を利用する際には、パスワード入力手段28を用いて、パスワードを入力する。個人情報手段29は登録パスワードと記憶手段5から呼び出し、入力されたパスワードと照合し、双方が一致した場合は個人情報手段3に情報を通知させる。健康情報や毎日の生活行動は個人のプライバシーが重視されるべき情報である。特に優越した女性にとって自分の体重は人には知られたくないものである。

【0075】以上のように本実施例によれば、健康管理支援装置は、パスワードを知らない人にプライバシー情報を通知しない個人情報手段を備えているので、利用者は情報をだれかに見られるのではといった心配をすることなく使用できる。

【0076】
【発明の効果】以上の実施例から明らかのように本発明の健康管理支援装置によれば、下記の効果が得られる。
【0077】(1) 個人の日々の生活行動やリズムに関する情報と、個人の日々の生体情報を同時に通知するので、利用者は自己の生体情報とライフスタイルや生活のリズムの相関を一目で認識でき、生体状態の良否の原因を自己の生活の中に見いだし、改善方向を認識することができ、個人の健康管理に有効である。

【0078】(2) 個人の日々の生活行動やリズムに関する情報と、個人の日々の体重情報を同時に通知するので、利用者は自己の生理状態とライフスタイルや生活のリズムの相関を一目で認識でき、体重の増減の原因を自己の生活の中に見い出し、改善方向を認識することができ、個人の痩身やダイエット管理に有効である。

【0079】(3) 生活のリズム入力手段から入力された食事、運動、休養等に関する日々の生活行動についての各項目と体重入力手段から入力された体重情報を通知手段に通知し、利用者は日々の生活行動と体重を簡単に入力するだけで、体重と生活のリズムを同時に管理することができ、体重の増減の原因を自らのライフスタイルに見いだすことができ、生活改善による理想的体重の管理を行うことを支援する健康管理装置を提供することができ、る。

【0080】(4) 記憶手段は、入力手段から入力された食事摂取状況、生活状況、体質、健康管理に関する測定データを記憶蓄積し、記憶情報を選択通知手段に通知するので、利用者の長期的健康状態、生活実態の把握に役立つ。

【0081】(5) 体重測定手段からの体重情報を伝送

手段で体重入力手段に送信するので、体重の入力作業が軽減され、正確な体重の管理ができる。

【0082】(6) 血圧、血糖値、体脂肪率等の生理生体に関する測定データを入力する入力手段を設け、日々の生活のリズムと体重、生理生体測定データを一元で管理し、同時に一覧で表示させることにより、体重管理が重要な高血圧症、糖尿病等の特定の症状のある人にとって、日々の生活において、どこに欠陥があるのかを認識できるので健康管理がより便利になるとともに、生活改善による病気の予防に立つ健康管理支援装置を提供できる。

【0083】(7) 血圧、血糖値、体脂肪率等の生理生体状態を測定する生理測定データ測定手段の測定データが伝送手段を通じて、入力されるので、入力作業が軽減される。

【0084】(8) 食事、運動、休養等に関する日々の生活行動、日々の人体生理データまたは体重について入力された各項目の情報を日別にブロック表示するので、自分の生活実態と体重や生理状態の相関を一目で認識させることができる。

【0085】(9) 食事、運動、休養等に関する日々の生活行動、日々の人体生理データまたは体重について入力された各項目の情報をともに同一項目の入力情報を系列で表示するので長期傾向がつかみやすい。

【0086】(10) 生活のリズム情報に基づき生体バイオリズムを判断し、優せやすい時刻を推測し、報知するので、利用者は効率よく減量、痩身を行うことができる。

【0087】(11) 生活のリズム判定手段は利用者の生活を総合的に診断し、良否を判定し報知するので、利用者は入力した生活のリズム情報を一瞥で見えるだけでなく、適時客観的な判定結果を知ることができる。

【0088】(12) 助言手段が個人の生活実態に基づいた助言情報を報知するので、利用者は容易に具体的な生活改善を実行することができる。

【0089】(13) 画像や音声によってストレッチやヨガ等の運動法を報知するので、利用者はそれに従って運動をすれば、家庭や外出先で簡単に楽しく運動ができ、より健康増進や減量、痩身に役立つ。

【0090】(14) エステティッククラブ、スポーツクラブ、病院等の、美容瘦身施設または医療機関への通院の日を入力する通院記録入力手段と、美容瘦身施設または医療機関での実施内容を入力する施設内入力手段を備え、通院記録とその際の施設内内容を記録として容易に管理できる。

【0091】(15) さらに、生活のリズム及び体質の時間帯変化をこれら施設への通院状態及びその際の施設内容を一瞥で表示させ、一元管理するので、それら施設へ通う効果の有無の原因の認識ができる。またこれら施設では顧客の生活実態を把握した上で指導を行うことができ、る。

きる。

【0092】(16) エステティッククラブ、スポーツクラブ、病院等の、美容瘦身施設または医療機関の情報処理装置と本発明の健康管理支援装置は送受信部を介して結合されているので、健康管理支援装置の個人情報に関する情報と個人の生活のリズム情報と個人の体質の生体情報を美容瘦身施設または医療機関の情報処理装置に吸い上げることができ、顧客の生活実態や生理状態を一元管理することができる。

【0093】(17) 特定個人にしか情報報知をしない個人情報手段を設けているので、健康状態、生活実態、体質等のプライバシーシーを重視したい内容を見られる心配なく、安心して使える健康管理支援装置である。

【0094】(18) 入力手段は、ペンタッチ入力とし、情報機器の扱いに不慣れな人でも簡単に使える、ユーザインターフェイスにすぐれた健康管理支援装置である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施の形態における健康管理支援装置の回路ブロック図

【図2】同健康管理支援装置の外観図

【図3】同健康管理支援装置の動作説明図

【図4】同健康管理支援装置の動作説明図

【図5】同健康管理支援装置の動作説明図

【図6】同健康管理支援装置の動作説明図

【図7】同健康管理支援装置の動作説明図

【図8】本発明の他の実施の形態における健康管理支援装置の回路ブロック図

【図9】同健康管理支援装置の外観図

【図10】本発明の他の実施の形態における健康管理支援装置の回路ブロック図

【図11】本発明の他の実施の形態における健康管理支援装置の回路ブロック図

【図12】同健康管理支援装置の動作説明図

【図13】同健康管理支援装置の動作説明図

【図14】本発明の他の実施の形態における健康管理支援装置の回路ブロック図

【図15】本発明の他の実施の形態における健康管理支援装置の回路ブロック図

【図16】同健康管理支援装置の動作説明図

【図17】同健康管理支援装置の動作説明図

【図18】本発明の他の実施の形態における健康管理支援装置の回路ブロック図

【図19】同健康管理支援装置の動作説明図

【図20】本発明の他の実施の形態における健康管理支援装置の回路ブロック図

【図21】同健康管理支援装置の動作説明図

【図22】同健康管理支援装置の動作説明図

【図23】同健康管理支援装置の動作説明図

【図24】同健康管理支援装置と情報処理装置の結合構

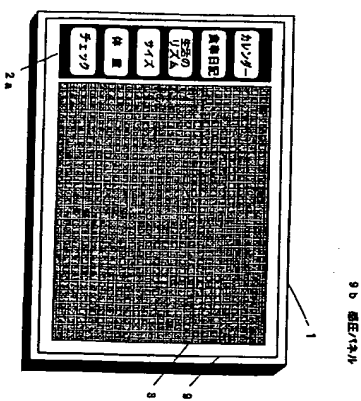
成图

【図25】本発明の他の実施の形態における健康管理支援装置の回路ブロック図

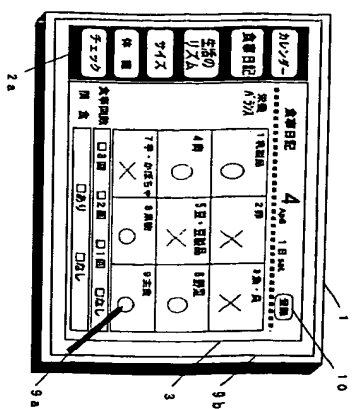
【符号の説明】

- 1 健康管理支援装置
- 2 入力手段
- 2 d 生活のリズム入力手段
- 2 f 体重入力手段
- 3 認知手段
- 4 認知制御手段
- 5 記憶手段
- 6 時計手段
- 7 日別アロツク表示制御手段
- 8 項目別時系列表示制御手段
- 9 a 透明タッチパネル

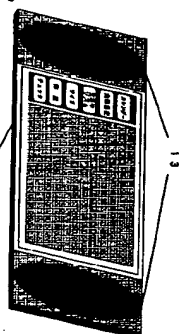
【図2】



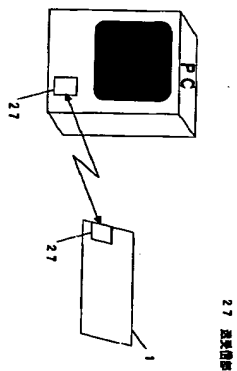
【圖 4】



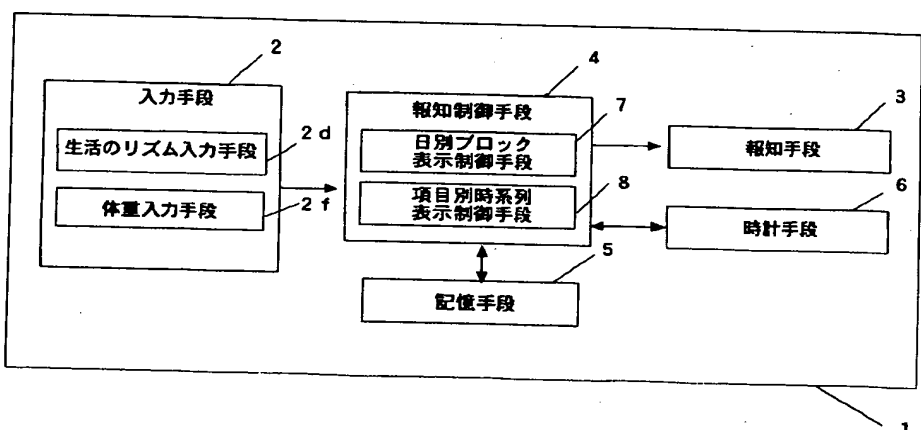
【69】



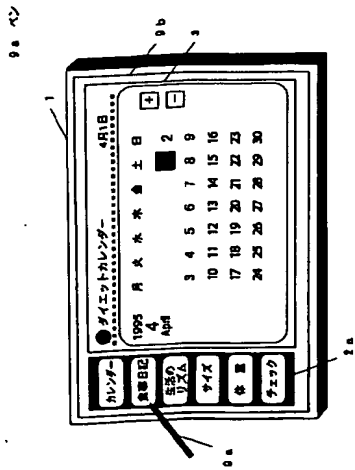
【圖24】



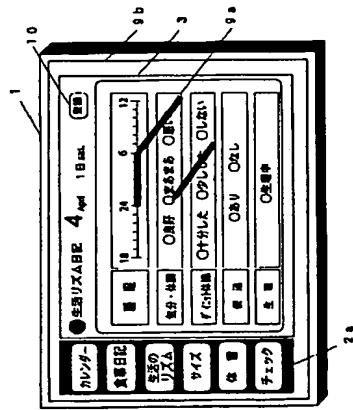
【圖二】



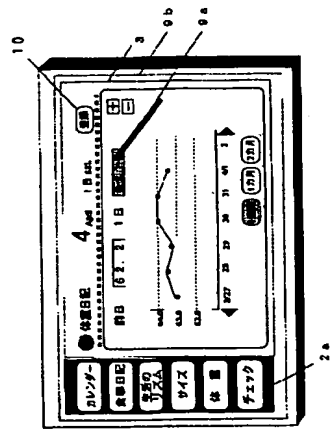
【図3】



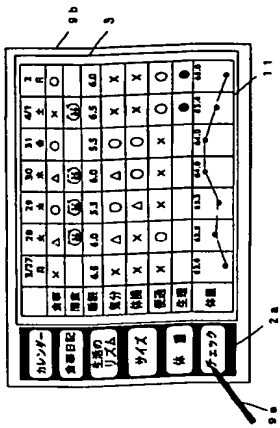
【図5】



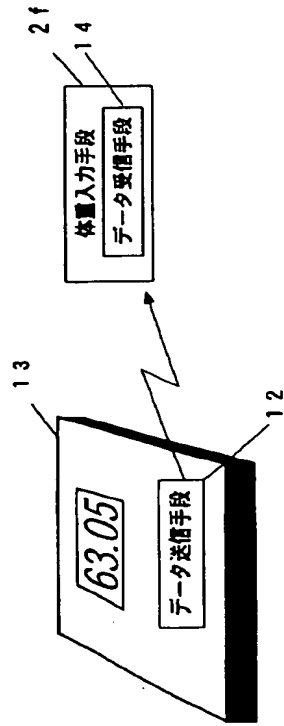
【図6】



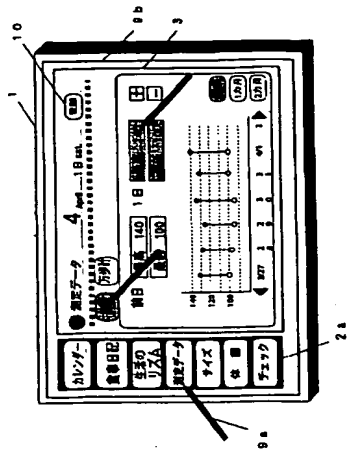
【図7】

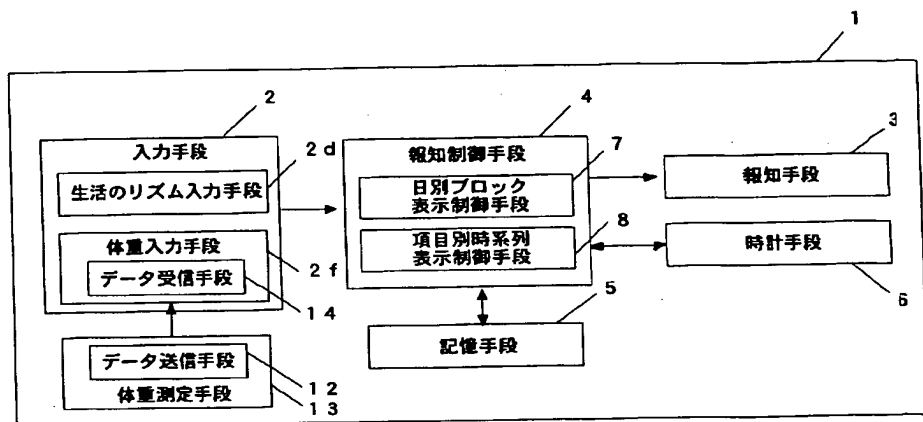


【図10】



【図12】

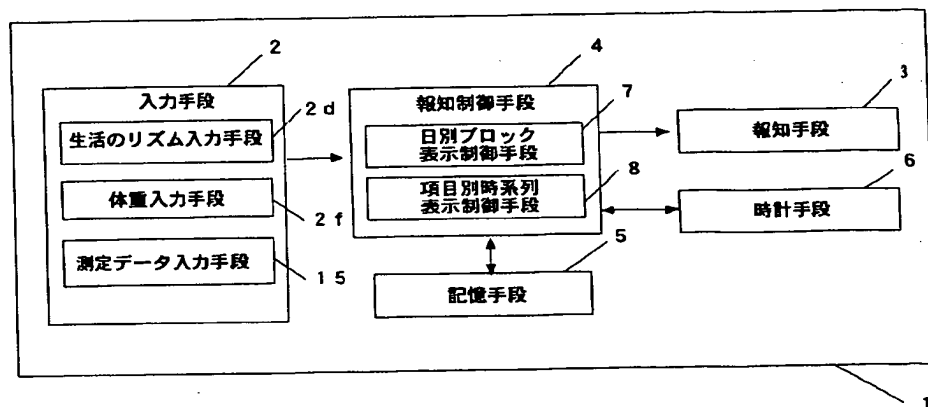




【図8】

(15)

特開平9-103413

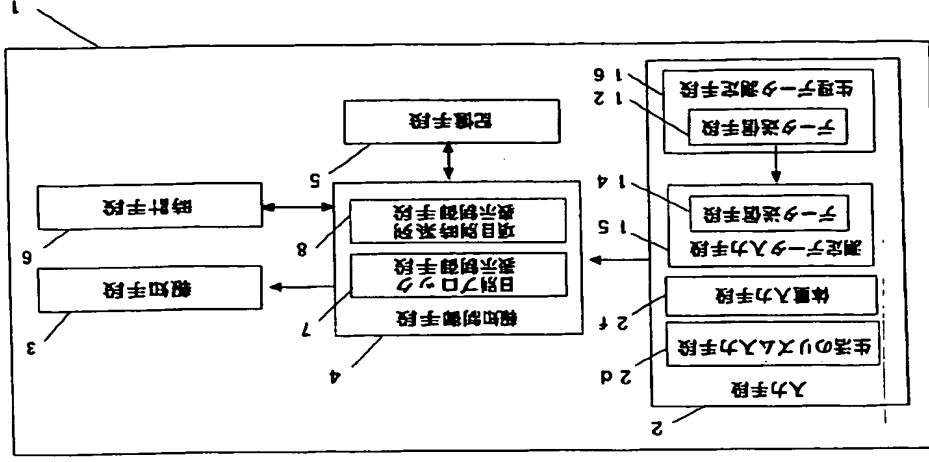


【図11】

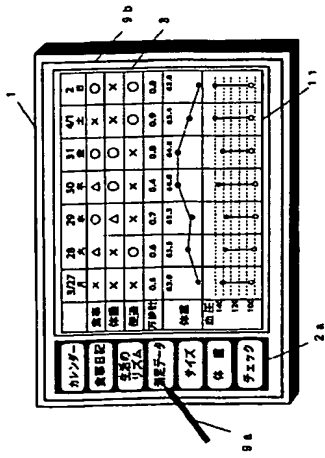
(16)

特開平9-103413

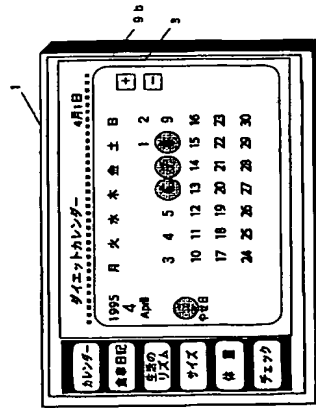
【図14】



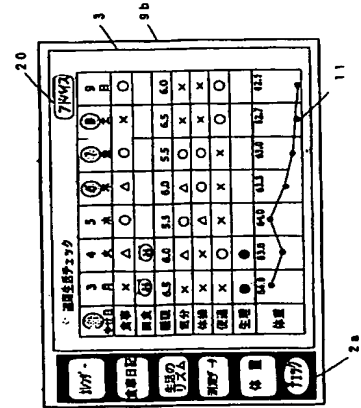
【図13】

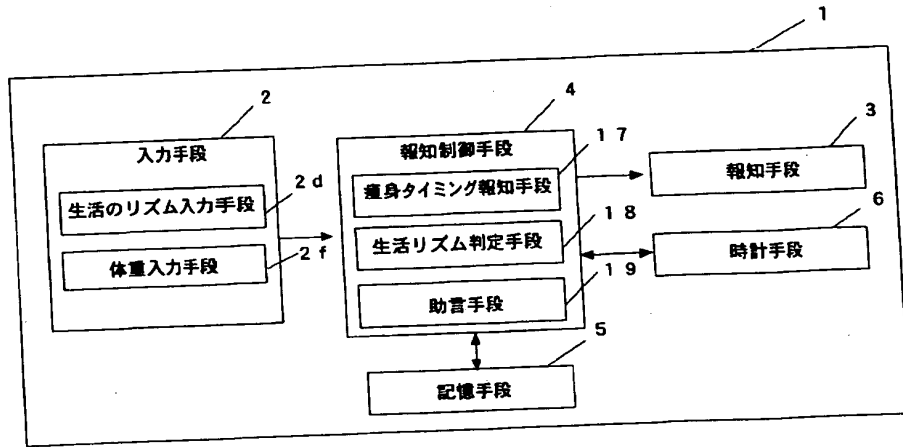


【図16】



【図17】

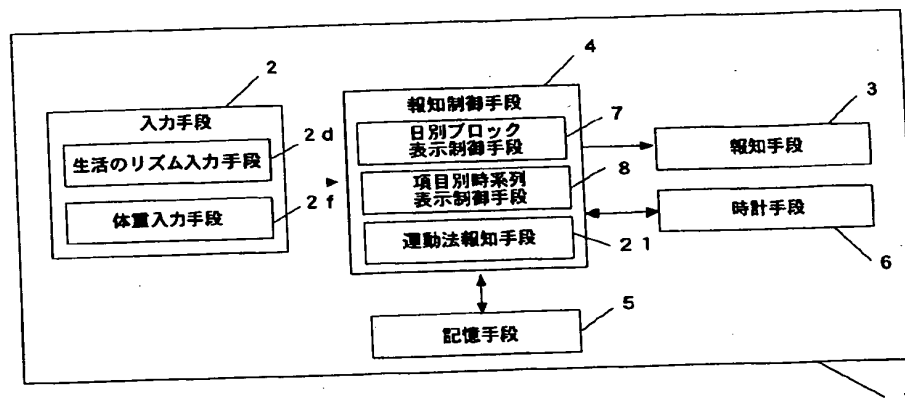




【図15】

(19)

特開平9-103413

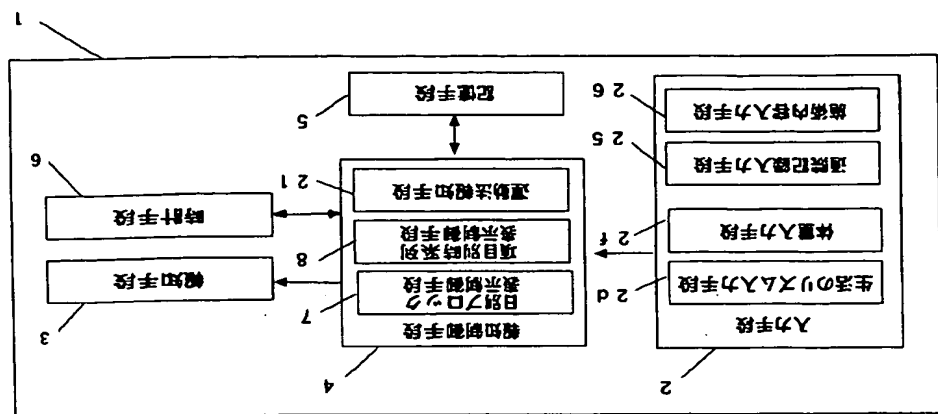


【図18】

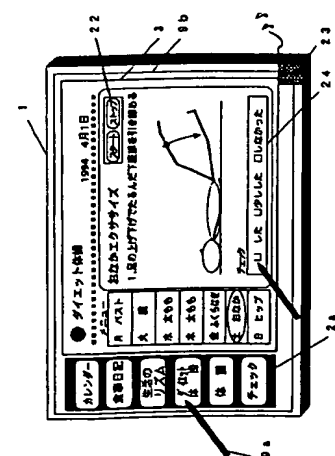
(20)

特開平9-103413

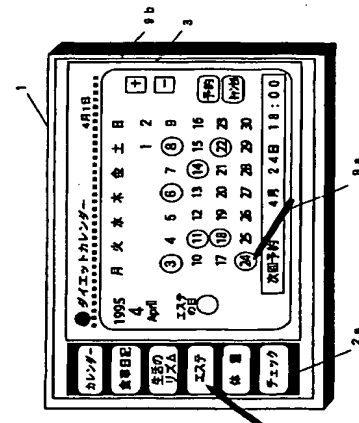
【図20】



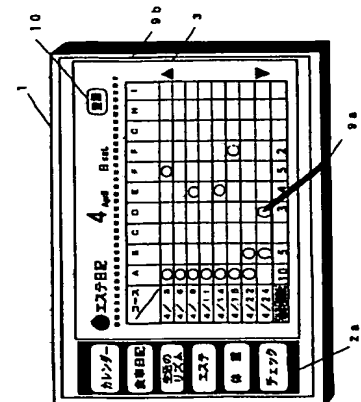
【図19】



【図21】



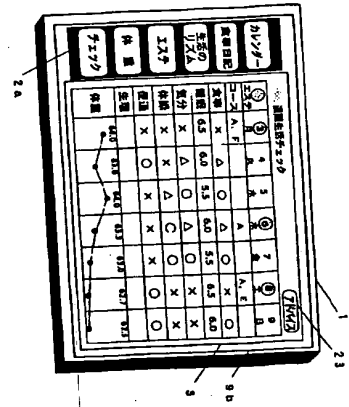
【図22】



(23)

特開平9-103413

【図23】



(24)

特開平9-103413

【図25】

